

2014年10月期 決算ご報告

巴工業株式会社

代表取締役社長 塩野 昇

2014年12月17日

**2014年10月期
実績について**

2014年10月期業績の概況（連結）

(単位：百万円、円)	13/10	14/10	増減	前年比	修正後 予想	予想比 増減
売上高	38,176	40,714	2,537	6.6%	40,300	414
売上総利益	7,677	7,638	▲ 38	▲ 0.5%	7,690	▲ 52
営業利益	1,516	1,273	▲ 243	▲ 16.0%	1,300	▲ 27
経常利益	1,680	1,629	▲ 51	▲ 3.0%	1,620	9
当期純利益	841	1,103	261	31.1%	1,030	73
一株当り当期 純利益（円）	84.29	110.54	26.25	31.1%	103.22	7.32
設備投資額	726	631	▲ 94	▲ 13.0%	-	-
減価償却費	397	425	27	6.9%	-	-

2014年10月期業績の概況（連結）

（1）機械製造販売事業

単位： 百万円、%	13/10期			14/10期（実績）				14/10期 修正後予想	
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比	予想比	金額	構成比
売上高	9,316	100.0	▲ 24.4	10,204	100.0	9.5	▲ 0.7	10,280	100.0
売上総利益	3,160	33.9	▲ 19.4	2,919	28.6	▲ 7.6	▲ 2.7	3,000	29.2
営業利益	527	5.7	▲ 59.1	157	1.5	▲ 70.1	▲ 21.5	200	1.9

機械事業の品目・分野別売上高実績比較 (前期対比)

(連結)

(単位：百万円)

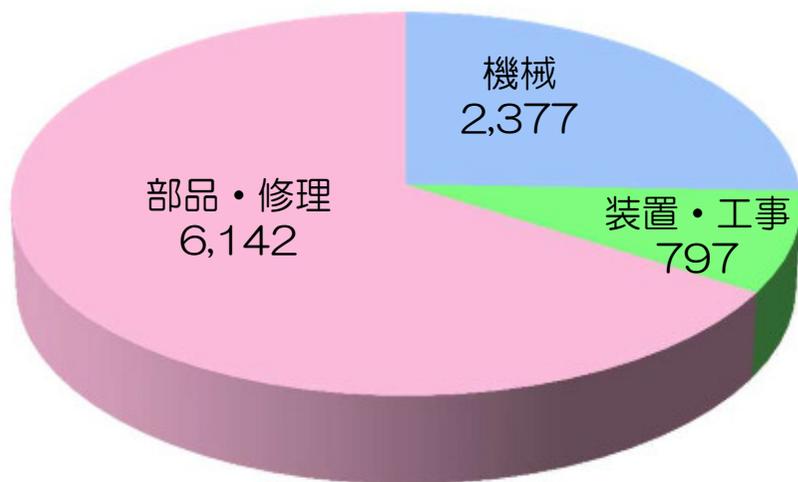
分野区分		品目区分	機 械	装置/工事	部品/修理	合計
官 需	14年10月		841	986	2,610	4,438
	13年10月		488	673	2,763	3,926
	差異		353	312	▲ 153	512
民 需	14年10月		684	8	1,877	2,570
	13年10月		502	49	1,870	2,422
	差異		182	▲ 41	6	148
海 外	14年10月		1,366	268	1,559	3,195
	13年10月		1,386	73	1,507	2,968
	差異		▲ 20	195	52	227
合 計	14年10月		2,893	1,263	6,047	10,204
	13年10月		2,377	797	6,142	9,316
	差異		515	466	▲ 94	887

機械事業のセグメント別売上高（前期比）

機械事業

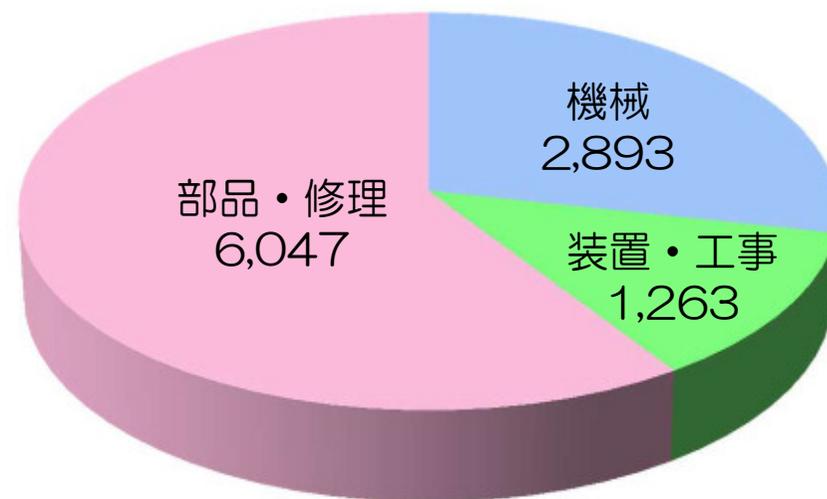
■ 機械 ■ 装置・工事 ■ 部品・修理

2013年 実績



実績9,316

2014年 実績



実績10,204

2014年10月期業績の概況（連結）

（2）化学工業製品販売事業

単位： 百万円、%	13/10期			14/10期（実績）				14/10期 修正後予想	
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比	予想比	金額	構成比
売上高	28,859	100.0	▲ 1.3	30,510	100.0	5.7	1.6	30,020	100.0
売上総利益	4,517	15.7	▲ 5.9	4,719	15.5	4.5	0.6	4,690	15.6
営業利益	988	3.4	▲ 14.6	1,115	3.7	12.8	1.4	1,100	3.7

化学品事業の品目別売上高実績比較（前期比）

（連結）

（単位：百万円）

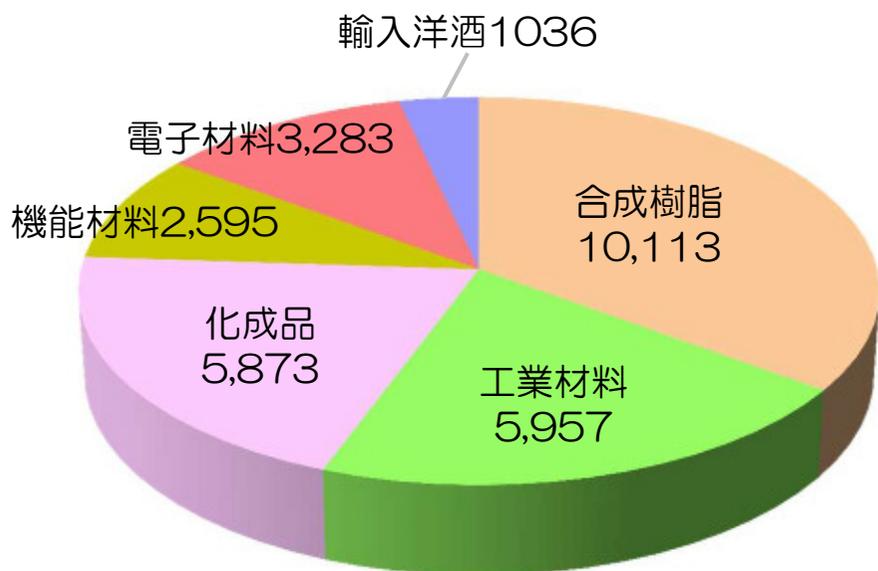
	2013年10月	2014年10月	差異
化学工業製品販売事業	28,859	30,510	1,650
合成樹脂関連	10,113	9,088	▲ 1,025
合成樹脂原料	8,106	7,145	▲ 961
合成樹脂製品	2,007	1,942	▲ 65
工業材料関連（鉱物類）	5,957	6,667	710
化成品関連（有機原材料）	5,873	6,737	864
機能材料関連	2,595	3,196	601
セラミックス	2,020	2,548	528
黒鉛及び金属類	574	648	74
電子材料関連	3,283	3,826	543
輸入洋酒	1,036	994	▲ 42

化学品事業のセグメント別売上高（前期比）

化学品事業

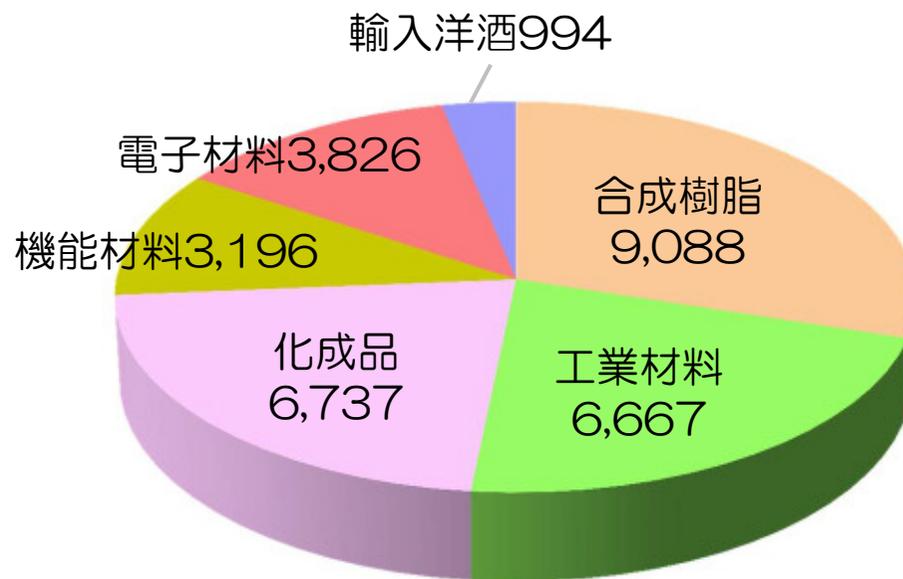
- 合成樹脂
- 工業材料
- 化成品
- 機能材料
- 電子材料
- 輸入洋酒

2013年 実績



実績28,859

2014年 実績



実績30,510

連結貸借対照表の増減要因（資産の部）

(連結)

(単位：百万円)

	13年10月	14年10月	差異	%
流動資産	25,568	25,583	14	0.1
現金及び預金	7,171	5,661	▲ 1,510	▲ 21.1
受手・売掛	12,639	14,321	1,681	13.3
たな卸資産	5,108	4,800	▲ 308	▲ 6.0
繰延税金資産	405	579	174	43.0
その他	249	225	▲ 24	▲ 9.8
貸倒引当金	▲ 7	▲ 5	1	▲ 15.5
固定資産	7,909	8,234	325	4.1
有形固定資産	5,266	5,544	278	5.3
無形固定資産	511	451	▲ 59	▲ 11.6
投資その他	2,131	2,237	106	5.0
資産合計	33,477	33,817	340	1.0

連結貸借対照表の増減要因（負債・純資産の部）

(連結)

(単位：百万円)

	13年10月	14年10月	差異	%
流動負債	8,799	8,778	▲ 21	▲ 0.2
支手・買掛金	6,096	5,970	▲ 125	▲ 2.1
短期借入金	731	-	▲ 731	▲ 100.0
未払金	614	535	▲ 79	▲ 12.9
未払法人税等	32	543	510	1581.7
その他	1,324	1,728	404	30.5
固定負債	1,102	1,096	▲ 6	▲ 0.6
負債合計	9,902	9,874	▲ 28	▲ 0.3
純資産合計	23,575	23,943	368	1.6
負債・純資産合計	33,477	33,817	340	1.0

連結キャッシュ・フローの状況

(連結)

(単位：百万円)

	2014/10	主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	525	税金等調整前当期純利益 : 1,782 売上債権の増加額 : Δ 1,669
投資活動による キャッシュ・フロー	Δ 710	有形固定資産の取得による支出 : Δ 564
財務活動による キャッシュ・フロー	Δ 1,562	短期借入金の純減少額 : Δ 751 配当金の支払額 : Δ 673
現金及び 現金同等物の減少額	Δ 1,510	現金及び現金同等物の期首残高 : 7,171 現金及び現金同等物の期末残高 : 5,661

2015年10月期 業績計画について

2015年10月期業績計画

計画

(連結)

	14/10	15/10 計画	増減	前年比
売上高	40,714	42,700	1,985	4.9%
売上総利益	7,638	8,920	1,281	16.8%
営業利益	1,273	1,830	556	43.7%
経常利益	1,629	1,850	220	13.5%
当期純利益	1,103	1,150	46	4.3%
一株当り 当期純利益	110.54	115.25	4.71	4.3%
設備投資額	631	-	-	-
減価償却費	425	-	-	-

2015年10月期業績計画

計画

(1) 機械製造販売事業

単位： 百万円、%	14/10期			15/10期（計画）		
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比
売上高	10,204	100.0	9.5	11,070	100.0	8.5
売上総利益	2,919	28.6	▲ 7.6	3,900	35.2	33.6
営業利益	157	1.5	▲ 70.1	650	5.9	311.8

機械事業の品目・分野別売上高 実/計比較

計画

(連結)

分野区分		品目区分			
		機 械	装置/工事	部品/修理	合計
官 需	15年10月	838	818	2,748	4,406
	14年10月	841	986	2,610	4,438
	差異	▲ 3	▲ 168	138	▲ 32
民 需	15年10月	860	77	1,818	2,756
	14年10月	684	8	1,877	2,570
	差異	176	69	▲ 59	186
海 外	15年10月	2,218	234	1,455	3,908
	14年10月	1,366	268	1,559	3,195
	差異	852	▲ 34	▲ 104	713
合 計	15年10月	3,916	1,129	6,023	11,070
	14年10月	2,893	1,263	6,047	10,204
	差異	1,023	▲ 134	▲ 24	865

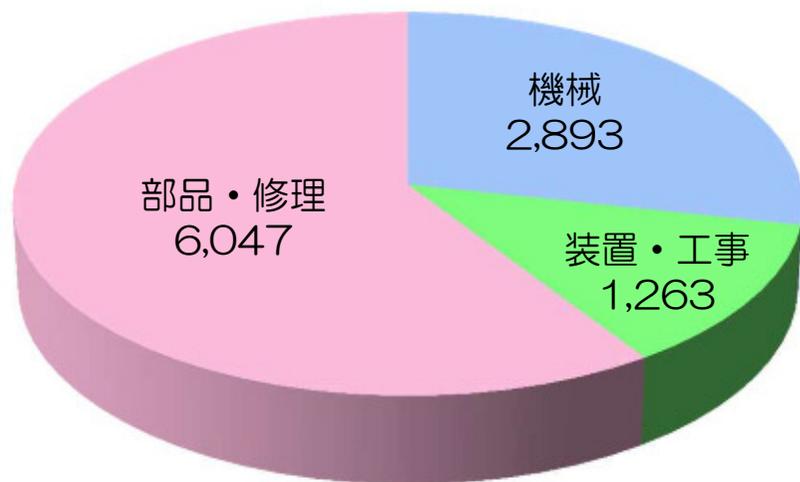
機械事業のセグメント別売上高（対前期比）

計画

機械事業

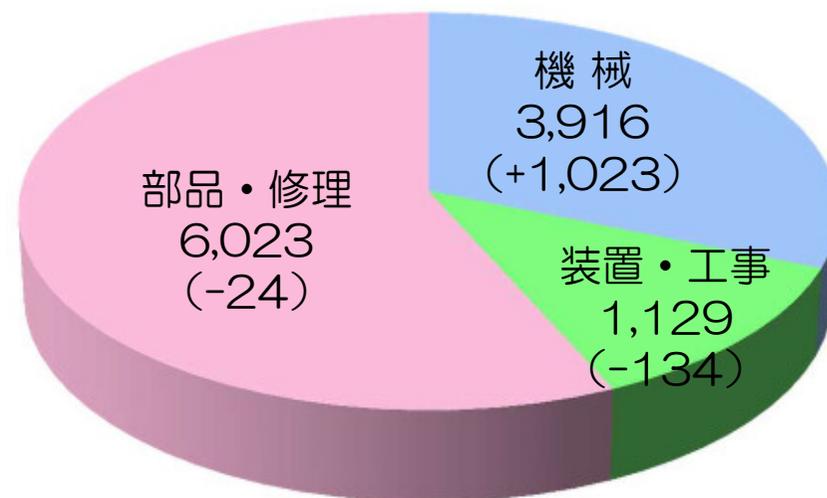
■ 機械 ■ 装置・工事 ■ 部品・修理

2014年 実績



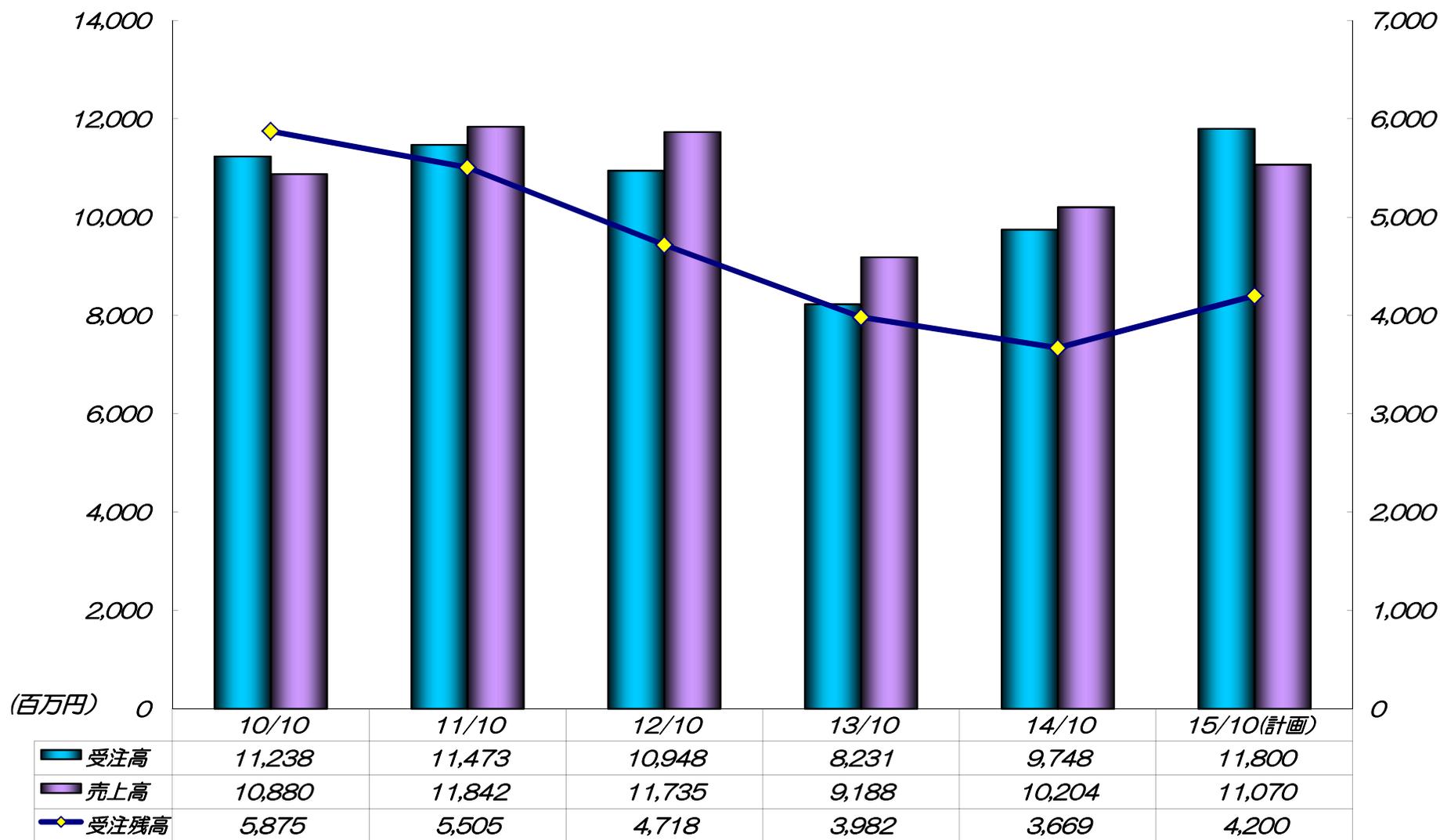
実績10,204

2015年 計画



機械事業 合計
11,070 (+865)

機械事業の受注・売上・受注残実績・計画



注：2012年までは、その他機械及び連結先数値を除いています。

2015年10月期業績計画

計画

(2) 化学工業製品販売事業

単位： 百万円、%	14/10期			15/10期（計画）		
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比
売上高	30,510	100.0	5.7	31,630	100.0	3.7
売上総利益	4,719	15.5	4.5	5,020	15.9	6.4
営業利益	1,115	3.7	12.8	1,180	3.7	5.8

化学品事業の品目別売上高 実績・計画比較

計画

(連結)

(単位：百万円)

	2014年10月	2015年10月	差異
化学工業製品販売事業	30,510	31,630	1,120
合成樹脂関連	9,088	10,419	1,331
合成樹脂原料	7,145	8,095	950
合成樹脂製品	1,942	2,324	382
工業材料関連 (鉱物類)	6,667	7,247	580
化成品関連 (有機原材料)	6,737	6,484	▲ 253
機能材料関連	3,196	3,290	94
セラミックス	2,548	2,463	▲ 85
黒鉛及び金属類	648	827	179
電子材料関連	3,826	3,088	▲ 738
輸入洋酒	994	1,100	106

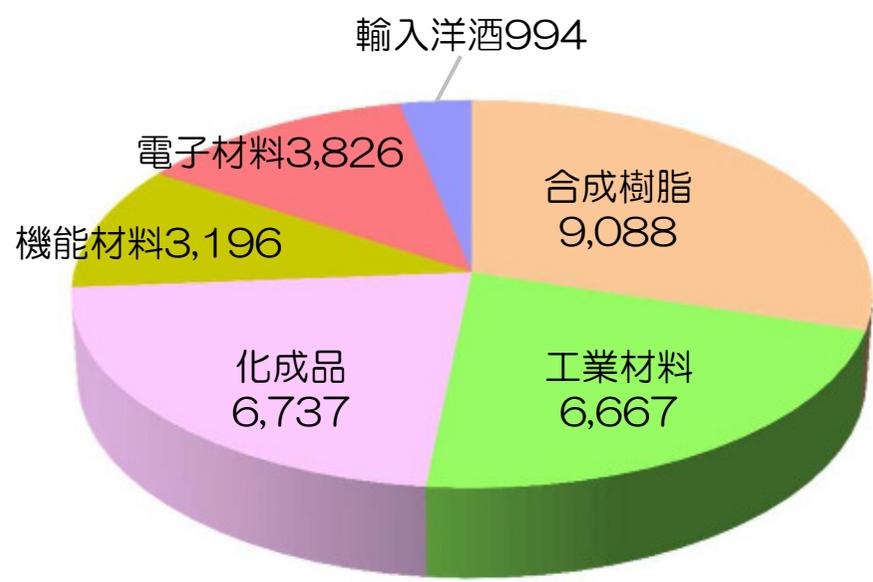
化学品事業のセグメント別売上高（対前期比）

計画

化学品事業

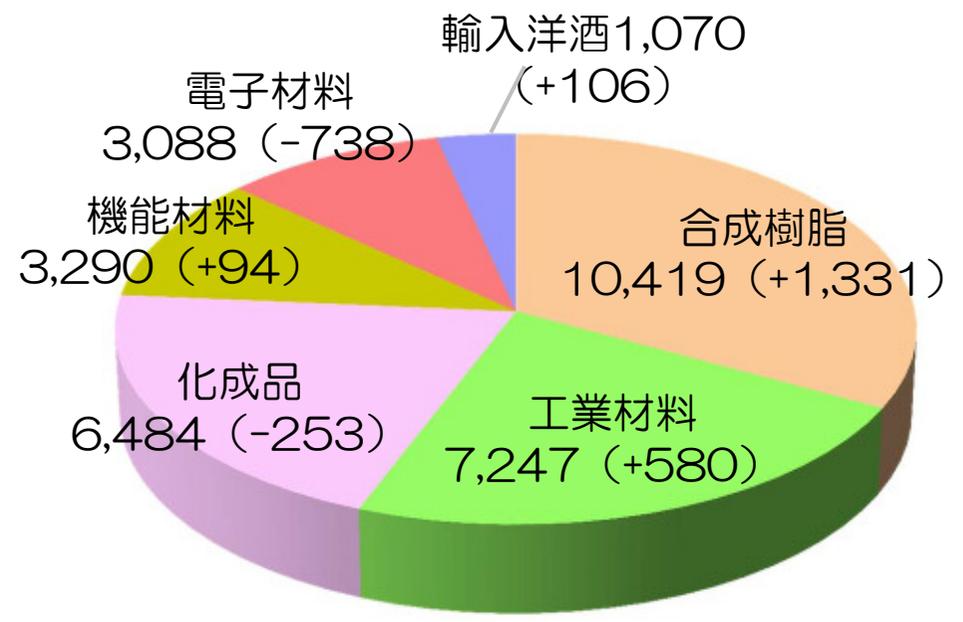
- 合成樹脂
- 工業材料
- 化成品
- 機能材料
- 電子材料
- 輸入洋酒

2014年 実績



実績30,510

2015年 計画



化学品事業 合計
31,630 (+1,120)

2015年度の取組について

2015年度の取り組み

◎ 機械製造販売事業 ～最近の動向と対応～

《機械》

最近の動向：国内販売強化、海外に注力

- 官需中心にHED型遠心脱水機（高効率省エネルギー型）拡販
化学プラント、浚渫汚泥処理、食品分野向けに拡販
- 北南米の油井掘削向けに営業、アジア地域の海外案件に注力

《装置・工事》

最近の動向：中国・砥粒回収装置、炭化装置に注力

- 砥粒回収装置などの新規案件の獲得を目指して
営業を展開

《部品・修理》

最近の動向：北米部品供給、修理開始 国内官需は堅調に推移

- 北南米でも部品供給や修理を開始、営業攻勢中。アジア地域への拡販 国内民需、官需は顧客への営業を強化

2015年度の取り組み

(1) 機械製造販売事業

《海外展開》 遠心分離機

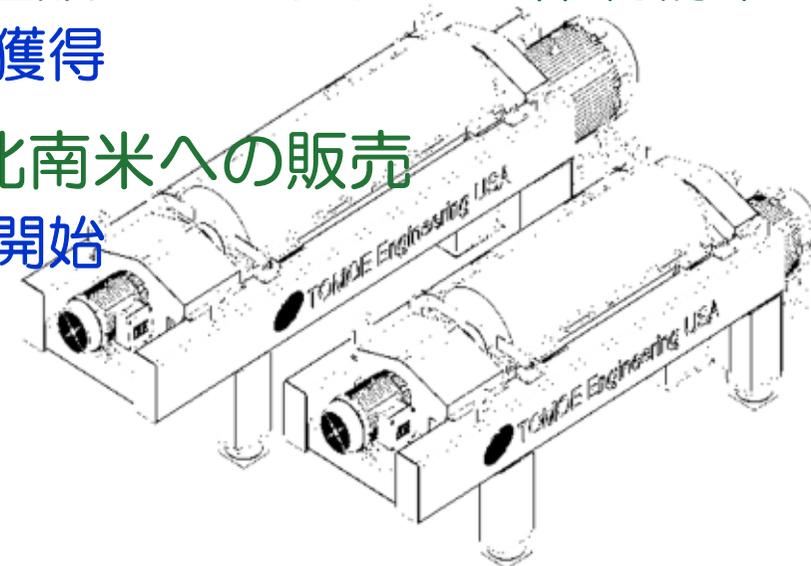
・北南米市場

オイルフィールド

Tomoe USA工場

米国現地法人 (Tomoe Engineering USA, Inc.-テキサス州ヒューストン)

- 1) オイルフィールド向け遠心分離機の直販とメンテナンス体制構築
既存顧客と部品供給、定期修理を順調に獲得
- 2) 販売会社（代理店）と協業で開拓、北南米への販売
大手掘削会社との実験が終了し、取引を開始
- 3) 石油化学、食品分野への販売促進
米国大手化学会社向けに
縦型遠心分離機大型案件納入予定



2015年度の取り組み

(1) 機械製造販売事業

《海外展開》 遠心分離機、炭化装置、砥粒回収装置

- アジア地域（韓国、中国、インドネシア、タイ、ベトナム、インド）

1. 化学工業

化学工業：PVC PTA PVB
CPVC タール

2. 食品・医薬

3. 砥粒回収装置



海外向け戦略機
TECOシリーズ

2015年度の取り組み

(1) 機械製造販売事業

《海外展開》 遠心分離機

地区	国名	展開	成果およびターゲット
東アジア	中国 韓国 台湾	上海事務所、ソウル支店 巴栄工業機械(上海)有限公司 <代理店契約> 中国5社、韓国2社、台湾1社	中・韓国内の機械販売、 修理・部品案件の取り込み、 北米油井掘削向け 一部生産
東南アジア	インドネシア	ジャカルタ事務所	インドネシア国内の機械販売、 修理・部品案件の取り込み
	タイ	代理店契約2社	タイ国内の機械販売、 修理・部品案件の取り込み
南アジア	インド	代理店契約1社	インド国内の機械販売、 修理・部品案件の取り込み
南北 アメリカ	アメリカ	代理店契約5社	油井掘削向け機械等の販売・ メンテナンス
		Tomoe Engineering USA (本社：ヒューストン)	2013年4月に販売子会社設立 メンテナンスも受注開始
	メキシコ	代理店契約4社	石油化学・食品向け機械の 販売、メンテナンス
	ブラジル・チリ	代理店契約1社	石油化学・食品向け機械の 販売、メンテナンス
ヨーロッパ	ドイツ	代理店契約1社	ヨーロッパでの機械販売、 修理・部品案件の取り込み

2015年度の取り組み

(1) 機械製造販売事業

《国内展開》 遠心分離機、回転加圧脱水機

・官公需市場

HED型低動力遠心脱水機

ロータリスネイル

1. HED型低動力遠心脱水機、ベルト濃縮機

- 1) 大規模処理場の更新需要向け
- 2) 大中都市消化汚泥処理向け

2. 省動力機種 of 拡販 (回転加圧脱水機)

中小規模処理場の更新需要

・民間市場

新用途開発分野

土壌汚染処理分野、食品分野、浚渫汚泥分野

バイオマスエネルギー分野

2015年度の取り組み

オイルフィールド(油井)向け 遠心分離機

Tomoe Engineering USA, Inc.



2015年度の取り組み

(2) 化学工業製品販売事業 <<化成品>>

最近の動向：紫外線硬化樹脂など売上堅調

→ 国内競合品との競争が続くが、シェア維持を目指す

1. UV硬化性樹脂：

UVインク、UV硬化性プラスチック用途

2. ウレタン関連：

建築用発泡ウレタンフォームのポリオール材料の展開強化

および新規サプライヤー開拓

難燃特性を持った添加剤の販売強化

3. 塗料・インキ分野への展開：

樹脂および添加剤の販売強化

2015年度の取り組み

(2) 化学工業製品販売事業 《工業材料》

最近の動向：建材など堅調、復興・オリンピック需要に期待
→ 一部商材の三国間貿易拡大、インフラ整備などへの採用で、
売上の増加を目論む

1. ウォラストナイト、タルク：
エンブラ、車載用PPの補強用フィラー用途。その他建材補強材。
2. バーミキュライト：
保水材、断熱材、耐火材。
3. シリカフューム：
コンクリートの強化材。土木・建築向け。
4. メチルセルロース：
自動車排ガス用セラミックス成形用、接着剤、結合材等。
5. マイカ：
自動車用途、建材用途などの保形材。

2015年度の取り組み

(2) 化学工業製品販売事業 <<機能材料>>

最近の動向：半導体市場の設備投資堅調、医療用コンプレッサーに期待
→ 既存商材の展開強化、医療用コンプレッサーの展開強化

1. セラミックス製品：顧客の要望に応じた素材選定、加工
石英、PBN、窒化アルミを素材としたメモリー、LED素子製造装置用部材
2. 放熱フィルター：AlN（窒化アルミニウム）、AlNパウダー
放熱を目的とした多用途の機能性フィルター
3. モレキュラシーブ：合成ゼオライト
カーエアコン、冷凍機等冷媒の脱水、鉄道車両用圧縮空気の脱水
4. 医療用コンプレッサー：酸素濃縮器用
在宅医療患者向け普及タイプに搭載、携帯用小型コンプレッサーを量産

2015年度の取り組み

(2) 化学工業製品販売事業 《電子材料》

最近の動向：顧客の海外移転への対応が課題
→ 新商材の開発、海外ビジネスの拡大などで活路を開く

1. トレイ：

半導体搬送用パッケージ基板向けICトレイ、医療用トレイ

2. ボンディングツール：半導体製造 キャピラリー、ワイヤーボンダー

3. 新商材の開発、海外展開：

ParkElectroChemical 社(Nelco®)

多層プリント配線板材料 販売活動開始

インジウム社 高融点鉛フリー半田 新規取扱い開始



2015年度の取り組み

(2) 化学工業製品販売事業 《合成樹脂》

最近の動向：表面処理機などは好調
→ 新商材の開拓に注力

1. 国内合成樹脂：

ポリプロ、ポリエチレン、ナイロン、輸入樹脂

2. 表面処理機、ナイロンナット、防錆フィルム



表面処理機



TOMOE VCI フィルム（気化性防錆フィルム）

2015年度の取り組み

(2) 化学工業製品販売事業 《海外事業》

最近の動向：受注・生産数量が増加傾向

→ 100%子会社化→ビジネス再構築

新規受注や主要取引先の生産数量増加とともに、
製造原価の低減や経費節減で、黒字化を目指す

• 海外展開

◎ 中国2拠点が共同で新商品開発

◎ 海外売上の拡大

海外売上比率の拡大を目指す

電子材料・工業材料・機能材料



**2014年10月期
決算説明会
おわり**

ご出席ありがとうございました